

助成研究成果を社会へ 産業界のつなぎ役に

天田財団創立30周年

天田財団が創立30周年を迎えた。塑性加工とレーザープロセッシングの研究を助成する、世界的に類を見ない財団だ。この記念の年を節目に、産業界との意思疎通を活発にし、社会に実装される研究の助成、成果の普及啓発に力点を置く。昨年11月25日に創立30周年記念式典・平成29年度助成式典を開き、新方針を強く打ち出した。

産学官のつなぎ役に

公益財団法人天田財団
代表理事理事長

岡本 満夫

天田財団は1987年の規模拡大と同時に、個人資産を基金に、わが国を促進させることが重要な国の産業、経済の発展にいかんにかつての目的に設立され、本日、創立30周年を迎えました。30年間の助成総件数は約1600件、総額は24億円に至ります。金庫などの加工に関する優れた研究活動や国際交流への助成、助成研究成果を産業界へ普及啓発するのは天田財団の社会的な使命です。最近採択とする分野です。優位性を維持するため、産学官がスクラムを組み、明確なビジョンを掲げ行動することが肝要です。大学と企業の共同研究が、今後の成果報告が楽しみです。

主催者あいさつ



数多くの応募から対象を選んだのは、非常に大変な作業であり、選考委員の皆さまに深く感謝申し上げます。

記念講演

金属加工技術 挑戦、そして限界突破への道

東京大学名誉教授 木内学氏



東京大学の木内学名誉教授が「金属加工技術の道」と題して記念講演を行い、長年の研究生活から得た研究者としての姿勢を1時間にわたって話した。ここでは講演後段の「基礎知力の強化を大学での研究」を紹介する。

大学の研究には三つの柱があります。一つは理論の構築です。理論を中心とした研究がなくてはなりません。ただし、専門家も難解な式を細かく調整して初めて答えが出るという理論だけではいけません。皆が使える理論や解析手法をつくり上げるべきです。二つ目は工業へ直接貢献する中核に据え、実生

来賓祝辞

経済産業省 製造産業局 素形材産業室長 岡本 繁樹氏



天田財団はモノづくりの発展に大きく貢献してきました。深く敬意を表します。経済産業省は毎年11月を素形材月間とし、さまざまな取り組みが産学官連携の方向性です。貴財団を通じ、産学官の英知を結集し、先端的技術やアイデアを融合させる研究開発を進め、成果を素形材産業が有効活用してモノづくりの新たな可能性を開き、わが国製造業の発展に貢献することを切にお願い申し上げます。本年度は金庫フレ

モノづくりの発展に貢献

分野から3件採択されました。世界で勝る技術力を

天田勇イブム100年後も

創立30周年、心よりお慶び申し上げます。天田財団は、わが国の金庫加工分野の研究支援、モノづくりのキーは加工技術、生産技術だと確信しています。天田財団もモノづくりの使命を掲げ、人々の豊かな未来に貢献してまいります。天田財団は、わが国の金庫加工分野の研究支援、モノづくりのキーは加工技術、生産技術だと確信しています。天田財団もモノづくりの使命を掲げ、人々の豊かな未来に貢献してまいります。天田財団は、わが国の金庫加工分野の研究支援、モノづくりのキーは加工技術、生産技術だと確信しています。天田財団もモノづくりの使命を掲げ、人々の豊かな未来に貢献してまいります。

一般社団法人日本塑性加工学会会長 吉田 一也氏



天田財団は、わが国の金庫加工分野の研究支援、モノづくりのキーは加工技術、生産技術だと確信しています。天田財団もモノづくりの使命を掲げ、人々の豊かな未来に貢献してまいります。天田財団は、わが国の金庫加工分野の研究支援、モノづくりのキーは加工技術、生産技術だと確信しています。天田財団もモノづくりの使命を掲げ、人々の豊かな未来に貢献してまいります。

日刊工業新聞社長 井水 治博氏



天田財団は多くの研究者の研究推進、国際交流の支えとなり、わが国の素形材産業の発展に多大な貢献をされました。弊紙の1987年6月6日発行の1面に、今の天田財団の発展に寄与したいと語られていました。人材の育成でも大きな功績を残しています。知性と経験、広い視野、人脈を併せ持つ研究者、技術者を金庫加工業界に送り出すことを期待します。

日本の製造業、国際的信用高めた

天田財団は多くの研究者の研究推進、国際交流の支えとなり、わが国の素形材産業の発展に多大な貢献をされました。弊紙の1987年6月6日発行の1面に、今の天田財団の発展に寄与したいと語られていました。人材の育成でも大きな功績を残しています。知性と経験、広い視野、人脈を併せ持つ研究者、技術者を金庫加工業界に送り出すことを期待します。

アマダホールディングス社長 磯部 任氏



わが国のモノづくり産業は大きな変革を迎えています。IoT、AI、知能化の進展は加速の一途です。金庫加工分野は軽量化、環境に優しい新素材の対応等々、解決すべき課題が山積してしまっています。メーカーがやるべきは技術革新の追求です。技術革新を市場に受け入れられる商品価値につくり上げ、お客さまに届けるのが金庫加工業界の発展、日本のモノづくりの地位向上につながる貢献です。研究者の皆さまは、単なる研究に終わらせず、成果を普及啓発していただくことを期待します。

研究成果を商品に実装

わが国のモノづくり産業は大きな変革を迎えています。IoT、AI、知能化の進展は加速の一途です。金庫加工分野は軽量化、環境に優しい新素材の対応等々、解決すべき課題が山積してしまっています。メーカーがやるべきは技術革新の追求です。技術革新を市場に受け入れられる商品価値につくり上げ、お客さまに届けるのが金庫加工業界の発展、日本のモノづくりの地位向上につながる貢献です。研究者の皆さまは、単なる研究に終わらせず、成果を普及啓発していただくことを期待します。

未来を目指す大学・企業・組織・個々人 知識集積・理解の深化 追求を



核心に迫る結果を得られ、必ず実技術に結び付きます。そうならないのは、突き詰めた基礎研究になっていないからと考へるべきです。大学の研究推進の心構えについて述べます。成果としては工学・技術の発展に利用可能な知識・データを得ることを至上命とします。最後に、研究推進を支

助成事業総評

公益財団法人天田財団 専務理事 佐藤 雅志

財団は変わる。2015-17年度の3カ年で創立30周年記念事業を行いました。助成プログラムを新設し、助成金の額と件数も増やしました。3カ年の総助成額は、課題は研究者の減少です。新規の応募率が減っています。ここで歯止めがかかるかが大きなポイントです。もう一つ、高齢化が進んで

招待講演

- 王 氏 平成26年度天田財団の助成を活用した研究者の講演を行った。
- 岐阜大学副学長 王 志剛氏 「塑性加工における摩擦法則の確立」
- 大阪大学接合科学研究所准教授 門 井 浩太氏 「レーザー溶接の凝固組織予測技術と凝固割れ発生防止法の開発」

助成研究成果発表会 開催のご案内

第2回 レーザプロセッシング

日時 平成30年4月25日(水) 13:00~19:00
(講演会)13:00~17:00 (交流会)17:40~19:00
場所 パシフィコ横浜 アネックスホール
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

第16回 塑性加工

日時 平成30年5月31日(木) 13:00~19:00
(講演会)13:00~17:15 (交流会)17:30~19:00
場所 国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1